

第106回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成19年9月28日(金)13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室3

出席者：委員長 小豆澤 (神戸大)

副委員長 北野 (JR東海)

委員 大崎 (東京大), 坂本 (九工大), 村本 (東洋電機製造), 渡辺 (FDK),
増澤 (茨城大, 代理福長), 矢野 (産総研), 森下 (東芝, 代理長谷川),
平田 (大阪大)

幹事 水野 (信州大), 村井 (JR東海)

幹事補佐 鳥居 (武蔵工業大)

提出資料

- 106-1 第105回リニアドライブ技術委員会議事録案 (鳥居幹事補佐)
- 106-2 リニアドライブ技術委員会名簿 (鳥居幹事補佐)
- 106-3 LDIA2007開催状況報告 (小豆澤委員長)
- 106-4 リニアドライブ研究会 (矢野委員)
- 106-5 委員会構成員変更(2007年6月～2007年9月) (小豆澤委員長)
- 106-6 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール (村井幹事)
- 106-7 平成19・20年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧 (鳥居幹事補佐)
- 106-8 平成19年度リニアドライブ技術委員会活動報告 (小豆澤委員長)
- 106-9 D部門技術報告の発行・売上状況表(2007-6-30集計) (小豆澤委員長)
- 106-10 平成20年電気学会全国大会シンポジウム(案)提案用紙 (森下委員)
- 106-11 平成20年度(H20年4月～H21年3月)活動計画(1次案) (小豆澤委員長)
- 106-12 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会 (MLV) 活動報告 (森下委員)
- 106-13 産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会 (MEL) 活動報告 (鳥居幹事補佐)
- 106-14 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会 (NAD) 活動報告 (平田委員)
- 106-15 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会 (MDD) 活動報告 (矢野委員)
- 106-16 医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会 (ECD) 活動報告 (増澤委員)
- 106-17 第5回磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会議事録 (森下委員)
- 106-18 第1回産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会議事録 (鳥居幹事補佐)
- 106-19 第2回産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会議事録 (鳥居幹事補佐)
- 106-20 第5回新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会議事録 (平田委員)
- 106-21 第7回多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会議事録 (矢野委員)
- 106-22 第8回多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会議事録 (矢野委員)
- 106-23 第1回医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会議事録 (増澤委員)

議事

1 議事録確認

資料106-1を用いて議事録の確認を行い、承認された。

2. 報告事項

2.1 資料106-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 D部門運営委は次週開催のため、今回は報告なし。資料106-3を用いて、小豆澤委員長より、LDIA2007の報告があった。発表数、参加者数とも前々回イギリス開催時より減少したが、日本からの減少分がちょうど見合う数である。初日の昼にISCが開催され、LDIA2009は仁川(韓国)開催が確認された。2011はEindhoven(Holland)で、Prof.Vandenputに依頼する予定であり、2013は中国浙江大学で検討してみる事となった。Program Comm. Chairは大崎、ISCは海老原、HoweのCo-Chair体制とし、Secretaryを日本で受け持つこととした。部門誌への論文投稿についての質問に対して、投稿があったら対処するとの回答があった。

- 2.3 資料 106-4 を用いて、矢野委員より、10/25,26 開催の LD 研究会（東京）のプログラムの紹介があった。発表件数が 18 件と少なかったが、これは人工臓器学会の直前であるため ECD 関連が減少したためである。
- 2.4 資料 106-5 を用いて、小豆澤委員長より、LD 傘下の委員会構成員変更の状況について、MLV 委に 1 名追加があったことの報告があった。
- 2.5 資料 106-6 を用いて、村井幹事より、資料提出スケジュールの確認が行われた。
- 2.6 資料 106-7 を用いて、H 1 9・2 0 年度予定の確認が行われた。
(1) NAD 委：10/26, 12/3 の予定を追加。
(2) 関連会合：2008.5/19-23 電磁力シンポ(大分)を追加。
関連して、来年の D 部門大会シンポは MDD 委の予定であることを確認した。
- 2.7 資料 106-8 を用いて、小豆澤委員長より、次週提出予定の活動報告案の説明があった。日時、参加人数等の修正の指摘があった。また、旧 SLD 委報告のありかたについての議論があった。
- 2.8 資料 106-9 を用いて、小豆澤委員長より、D 部門技術報告の売上状況についての報告があった。

3. 審議事項

- 3.1 資料 106-10 を用いて、長谷川氏より、MLV 委の全国大会シンポジウム提案についての説明があり、承認された。
- 3.2 資料 106-11 を用いて、小豆澤委員長より、H20 年度の活動計画 1 次案についての議論が行われた。新設予定委員会に MDD 委を追加し、解散予定委員会に ECD 委と MEL 委を追加する。次期 MDD 委について、NAD 委との統合を睨んで、半年ずらして H20.10 開始にしたいとの意向が述べられ、これについての意見交換があった。統合で委員会数が 4 に減少してしまうことへの懸念が示された。また、MDD 委内部でも意見は多様である、との状況報告があった。活動が縮小していく傾向は良くない、との指摘があり、関連して、周辺の方々を取り込んでいく工夫が必要である、MEL 委、MLV 委は異なる雰囲気である、超電導関連、交通鉄道関係などとの関係でこれまでやってきた、とのコメントがあった。さらに、人数が少ないと委員会の魅力が減り、報告書の負担が大きくなることも問題である、企業の若手を出してもらうために、上司に対して説得力ある委員会の魅力（講演など）が必要である、等の意見があり、継続して検討することとした。LD 研究会については、回転機との合同研究会を検討中であり、三木回転機技術委員長と打ち合わせすることとした。見学会の案についての検討が行われ、JR 関係を中心に打診してみることにした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 106-12～106-23 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上